

令和3年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[32] 世界史と簿記会計の深いつながり	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 教授 國井 法夫
授業概要	一見、世界史と簿記会計は全く関係がないと考えがちであるが、我々が生きていくのに必要なものを手に入れる活動と簿記会計は切っても切れない深いつながりがある。このつながりを世界史を通して考えていきます。		
授業方法と留意点	簿記・会計に関する知識がなくても面白く話が聞けるように工夫をしています。		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>< 6月29日（火）17:30～19:00 ></p> <p>第1講：「15世紀～16世紀イタリア・スペイン 香料・数字・公証人・冒険貸借・価格革命」</p> <p>簿記が初めて公にされたのは1494年ルカ・パチョーリの『算術、幾何、比および比例全書』（スママ）の中の「計算及び記録に関する諸説」（わずか27ページ）が簿記書の始まりとされています。舞台はベニスです。</p> <p>< 7月 6日（火）17:30～19:00 ></p> <p>第2講：「17世紀～18世紀オランダ・イギリス 世界初の株式会社・南海泡沫事件・産業革命」</p> <p>ヨーロッパの人々は寒い冬を越すために、どうしても香料が必要でした。それを手に入れるために当初は中東との貿易、のちには直接インドや東南アジアにまで航海をして手に入れようとした。その貿易のために必要とされた組織が株式会社でした。</p> <p>< 7月13日（火）17:30～19:00 ></p> <p>第3講：「18世紀～19世紀 イギリスとアメリカ 鉄道事業・大量生産と分業」</p> <p>イギリスにおいてはじめて産業革命がおこり、紡績・織布・毛織物産業が発達します。その後、製鉄業、鉄道の発達をみます。その後、新興国のアメリカに舞台が移り、アメリカ東部から西部に領土が拡大していきます。この拡大につれて鉄道も拡大していきます。この運賃の計算をするのに必要とされたのが原価計算です。</p>			
その他			
テキスト	プリントにより		
参考文献			
関連科目			
開講日時	6/29（火）	7/6（火）	7/13（火）
	17:30～19:00		
会場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-4337（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp / yuuki-sasaki@nau.ac.jp		